



2012年度 北陸学院大学 出張講座 (一般向け)

分野	No.	名 称	概 要	講 師	対 象	定 員	備 考(使用機材等)
教 育	1	「みんなといっしょ」の意味	「みんな」がしていることをしない子は心配な子なのでしょうか？	大井 佳子 (人間総合学部 教授)	一般・ 教育関係者	40名	
	2	子ども・若者へのラブソング	子ども・若者の生きづらさに寄り添い、共に学び、働き、生きるためのラブソング=共育・響育・興育・教育論とは？	金森 俊朗 (人間総合学部 教授)	教育関係者	40名	
	3	心を癒す音楽	「天使のハーモニー」と呼ばれるほど優美で清澄な響きのハンドベルのワークショップを楽しみます。	多保田 治江 (人間総合学部 教授)	一般	22名	CDプレーヤー
	4	自然のふしぎに学ぶ	さまざまな実験や観察を通して、自然の不思議にふれ、その性質やさまじりを見つけましょう。	戸田 教一 (人間総合学部 教授)	小学生と 保護者	30名	
	5	創作ダンス	ダンスの難しい技法は用いません。絵を描くように、音楽を奏でるように表現したいことを自由に身体であらわします。	田邊 圭子 (人間総合学部 准教授)	一般	30名	音響機材(CDMDラジカセ等) マイク (ピンマイク) 動きやすい服装
	6	アジアの子ども達の遊び・教育について	アジアの子ども達の現状、なかでもタイ王国の子ども達の遊びや、教育環境についてフィールド調査をもとに紹介したいと思います。	福井 逸子 (人間総合学部 准教授)	一般	25名	PC プロジェクター スクリーン
	7	大切にしたい！その子らしい表現	さまざまな子どもの自己表現の実態から、その子らしく輝く子どもたちの育ちについて考えていきます。	吉田 若葉 (人間総合学部 准教授)	幼児の 保護者	20名	PC プロジェクター スクリーン
	8	教育政策の動向と理解	教育基本法の改正やそれを受けての教育三法の改正について解説します。	海口 浩芳 (人間総合学部 准教授)	一般	40名	プロジェクター スクリーン
	9	学校の歴史:「学び」の可能性について考える	学校が担ってきた役割を歴史的に考察し、現代社会に求められている「学び」とは何かを追究します。	辻 直人 (人間総合学部 准教授)	一般	40名	DVD使用

分野	No.	名 称	概 要	講 師	対 象	定 員	備 考(使用機材等)
言 語 と 文 化	10	英語で遊ぼう	絵本や歌・チャンツなどを通して英語に触れます。子どもと一緒に英語に触れたい方向けの講座です。	米田佐紀子 (人間総合学部 教授)	一般	10名	PC プロジェクター スクリーン CDラジカセ
	11	大人のための英米文学	英米文学に描かれる大人の役割を紹介します。	朝倉 秀之 (短期大学部 教授)	一般	20名	
	12	失敗しない異文化コミュニケーション	先入観や画一的なイメージで異文化の人を判断する「ステレオタイプ化」に惑わされない態度やスキルを学びます。	後藤田 遊子 (短期大学部 教授)	一般	20名	PC プロジェクター スクリーン
	13	共に生きられる社会へ —地域社会における外国人住民—	グローバル化と少子高齢化の中、日本社会は多くの外国人によって支えられています。彼らがなぜ、そしてどのように日本の地域社会で暮らしているのかを知り、「共に生きる」可能性を探ります。	俵 希實 (人間総合学部 教授)	一般	40名	PC プロジェクター スクリーン
福 祉 ・ 医 療	14	ワールドピックス —世界に目を向けよう— (講義は日本語で行います)	広い視野で様々な角度から世界の出来事を見ることで、英語圏以外の言語・文化の面白さを学びます。	ギャビン リンチ (人間総合学部 准教授)	一般	40名	PC プロジェクター スクリーン
	15	記録とケアプラン	記録とケアプランとを関連づけながらケアの質を高める方法を学びます。	真砂 良則 (人間総合学部 教授)	施設職員 介護職等	40名	PC プロジェクター スクリーン
	16	福祉用具で快適な暮らし	障害のある方とその生活を支える福祉用具の活用とその発展について学びます。	由田 美津子 (人間総合学部 教授)	一般	40名	ビデオ再生機 モニタ
	17	認知症にならないコツ教えます	生理的な老化と病的なボケ=認知症の違いから、認知症回避のための日常生活上のポイントを提案します。	中谷 智一 (短期大学部 教授)	一般	40名	不要
	18	社会的養護とこどものころ	児童養護施設や乳児院などで暮らす子どもたちの心について、臨床心理の立場から理解を深め、社会的養護のあり方を理解します。	虹釜 和昭 (人間総合学部 教授)	社会福祉 関係者	30名	スクリーン
	19	世界の「おかあさん」	国際児童支援組織SOS子どもの村(キンダールドルフ)と世界で働く「おかあさん」職員について紹介し、心身ともに傷ついた子どもの養育について考えます。	中島 賢介 (人間総合学部 准教授)	一般	40名	PC プロジェクター スクリーン
	20	住み続けられる地域とは:防災・減災の 視点から	近年、多発する災害からの教訓が「住み続けられる地域」というキーワードです。災害リスクから暮らしを、地域を守るために必要な視点について考えていきます。	田中 純一 (人間総合学部 准教授)	一般	40名	プロジェクター スクリーン DVD

分野	No.	名 称	概 要	講 師	対 象	定 員	備 考(使用機材等)
【心 理】	21	ストレスにあなたは立ち向かう？	ストレスへの対応をコーピングといいます。コーピングにはどんな種類があり、自分のコーピングの特徴はどんなものか、考えてみましょう。	木島 恒一 (人間総合学部 教授)	一般	40名	
	22	より良いコミュニケーションのあり方とは	日常欠かせない「コミュニケーション」について心理学の観点から理解し、振り返ってみましょう。	西村 洋一 (人間総合学部 准教授)	一般	30名	プロジェクター スクリーン
	23	楽しく学べる自己心理学	TEGという人の心の成り立ちを理解するために有用な心理検査を使って、自分自身(自己)の分析をしてみましょう。 *TEG II 用紙を人数分、ご購入していただく必要があります。	菱田 陽子 (短期大学部 教授)	一般	20名	PC プロジェクター スクリーン
【食 生 活】	24	子どもの食生活 —家族で一緒に—	栄養面だけでなく家庭環境の重要性について学びます。	富岡 和久 (短期大学部 教授)	幼児・児童 と保護者	40名	プロジェクター スクリーン
	25	日本と韓国の食器の比較	「文化としての食べ物」という視点から日本と韓国の食文化を比べます。	小林 正史 (人間総合学部 教授)	一般	40名	PC プロジェクター スクリーン
	26	豚肉っておいしい！？	生活習慣病と栄養成分、機能性成分について学びます。	坂井 良輔 (短期大学部 教授)	一般	40名	
	27	食生活と健康づくり	健康日本21や食事バランスガイドを中心に理解を深めます。	短期大学部 食物栄養学科	一般	40名	
	28	「じわもん」ってなんや？ —地産地消と郷土料理—	石川県の郷土料理、行事食、加賀野菜の実態について取り上げます。	短期大学部 食物栄養学科	一般	40名	
	29	親子で郷土食の調理	石川県の郷土料理を加賀野菜を使って調理します。	短期大学部 食物栄養学科	小学生と 保護者	20組	エプロン、三角巾 *材料費は当日、実費精算
【情報・キャリア】	30	男女共同参画社会に向けて	政府の重要施策の一つである男女共同参画社会実現に向けて、その意識の啓蒙などに関わる学びをします。	菱田 陽子 (短期大学部 教授)	一般	40名	
	31	国際化する社会で使ってみよう簡単オフィス英語	電話対応の簡単なダイアログ(英会話)練習と解説をします。	菱田 陽子 (短期大学部 教授)	一般	20名	

分野	No.	名 称	概 要	講 師	対 象	定 員	備 考(使用機材等)
【情報・キャリア】	32	より良いプレゼンテーションに向けたコツと注意点	プレゼンテーションを上手に行うためのポイントを紹介します。	池村 努 (短期大学部 准教授)	一般	20名	PC プロジェクター スクリーン
	33	図書館サービスの現状と課題について	現在、図書館サービスにおける諸課題について、実務と学術の両方の視点から考える機会を提供します。	間部 豊 (短期大学部 准教授)	図書館 関係者	15名	
	34	社会人として必要なチカラ	他人との関わり方や、周囲から期待される力は年代によって違うことを知り、良好な人間関係作りのヒントから学び考えます。	辰島 裕美 (短期大学部 講師)	高校生以上 一般	40名	PC プロジェクター スクリーン
	35	キャリア・デザイン入門	「あなたにとって、仕事って何ですか?」「何のために働くのですか?」ごいっしょに考えてみましょう。	田中 康司 (法人・大学事務局 副参事)	小学生 中学生 高校生	40名	PC プロジェクター スクリーン

* 使用機材等については、要望に応じて調整いたします。

出張講座 実施までの流れ

- 申込** 「出張講座申込書」に必要事項を記入の上、FAXしてください。(メール添付・郵送も可)
*申込書は、大学HPIにPDF版、EXCEL版の用紙を用意しています。ご利用ください。
- 受付・調整** 地域教育開発センターで受付し、講師と日程調整のうえご連絡いたします。
- 打合せ** 申込担当者と本学講師で事前打合せを行い、使用機材、資料等の確認をしてください。
*講師によっては、送迎をお願いする場合があります。打合せ時にご確認ください。
- 実施** 講座実施日には、必要機材等の準備をお願いいたします。
*アンケートへのご協力をお願いいたします。回収後、ご返送ください。
(恐れ入りますが、郵送料はご負担下さい。)

費用について

講座講義は無料で行っております。ただし、1教室(40名程度)までとしています。
この人数以上になる場合は、講演会等の扱いとなりますので、講師と直接交渉願います。

* 講座No.29「親子で郷土食の調理」の材料費は、実費になります。

Realize Your Mission
あなたの使命を実現しよう

《申し込み・問い合わせ》

北陸学院大学 地域教育開発センター

〒920-1396 金沢市三小牛町イ11
Tel : 076-280-3850 Fax : 076-280-3851
E-mail : redcc@hokurikugakuin.ac.jp



北陸学院大学 人間総合学部	幼児児童教育学科	児童教育コース・幼児保育コース・人間理解コース
	社会学科	社会デザインコース・環境プランニングコース・心理社会コース
	社会福祉学科	
北陸学院大学 短期大学部	食物栄養学科	
	コミュニティ文化学科	(全学科男女共学)